第14期　第5回白石区地域部会・運営部会

日時：2023年8月9日（水）10：30～12：00

場所：白石区役所　4階A会議室

〇出席

常盤野会長・斎藤副会長・主査佐藤氏・相談室あゆみ岸井氏・菅原氏・相談室きよサポ岡崎氏・竹本氏・社協竹田氏・ビビット南郷田中氏・ワンオール林氏・ここりか服部氏・ピアデザイン稲垣氏・事務局西町

〇欠席

ラダーサポート宮西氏

1. 報告・連絡事項

＊部会長（常盤野氏）から

〇BCP作成セミナー　7月27日（木）・8月31日（木）

オンラインにてこれまでセミナーに2回参加。2回目から白石地域部会について触れてもらい、改めて共催形式となる。白石区内46事業所が参加され、実人数は35人程度となる。

〇札幌市自立支援協議会運営会議　7月27日　報告

・就労部会は、年に一回定例会を開催。B型事業所が増加傾向を続ける一方、一般就労についてのアプローチの少なさ、支援の質が問題視される意見も。

・相談部会では、課題調べシートの取り扱いについて協議。指定相談向けの研修会の開催を実施。
基幹相談支援センターワン・オールからは、市外の転居相談の多さ、重度訪問介護についての問題も触れられる。今後、触法についての研修会を開く予定。

・重度心身障がい者のプロジェクトチームが設立される。支援区分調査が民間に委託され、障がい区分判定の基準が変わっている声が現場から増えている。各区により、区役所窓口から、原則540時間の申請をするよう通達される。

・中央区でヘルパー調査を行い、継続審議中。何を明らかにすべきか、アンケートの目的も含め、議論を重ねていく。

＊子ども部会（斎藤副会長）より

・9月4日、70名定員で研修開催予定。コロナ明けという状況を踏まえ、以前の三日間から半日に変更し、「支援力向上セミナー」を実施予定。無資格での業務従事が可能な現状の制度設計を考慮の上、初歩的な

研修内容の設定としている。同様に11月も対面研修の開催を予定。子ども家庭庁の関係者を呼び、今後の方向性を話してもらう機会を作る。。
全市の部会長（斎藤氏）としても、子どもの貧困に対する会議、障がい者・障がい児プランの策定に現在関わっている。

＊就労部会（服部氏）より
特段大きな動きはなし。「集まる場」開催後のアンケート集計、資料の取りまとめを行い、第2回目開催前には共有する。企画への参加希望者も複数名挙がっている状況。

＊初任者基礎研修会より
〇7月14日（金）第1回研修について
みちくさ内藤氏より講義をいただき、その後グループワークを実施。相談支援事業、B型、児童それぞれの立場・視点からディスカッション。利用者との距離感、悩み事などが出ている。
参加者は27名。初任者を対象と設定していたが、トータル経験年数の長い方もいた。今後の研修は11月を目標に2回目の開催を研修チーム内で検討中。交流会が活発となった。参加者が記載する付箋には、制度の理解、生活保護、年金、コミュニケーション（保護者対応、利用者対応）、障がい特性の学習などがキーワードして挙げられている。
次回に向けた打合せを、8月21日の週で日程調整。

＊事例検討会より
　大きな動きはなし。11月開催を目途に、事例提供をメンバーに呼び掛けている。9月に事例提供者と打合せを行う予定。事例提供を出すことにハードルの高さを感じる部分をどうするか。

2. 協議事項

＊白石全体会　9月27日（水）について
・BCPセミナー（オンライン）は8月末に3回目の実施予定。9月27日は奥村氏による対面開催を予定。8月10日に、運営委員田中氏、主査佐藤氏と先方と打合せを行い、内容、形式を検討。
一回目は全般的内容、二回目は様式の取得方法、記載方法。三回目は通所系、入所系、訪問系それぞれでの要点を話してもらう。打合わせ後、チラシ作成し、広報を進める。
想定する参加者として、これまでのオンラインセミナーを一回でも参加した方を対象と考え、案内方法は何らかの工夫、考慮が必要と考える。

（決定事項）
対象は一回でもオンラインセミナーを受けたことがある方
種別で分ける（カテゴリー分け）
それぞれの事業所で可能な限りBCP様式を埋めて持参する

グループワークでは、どこで困ったのかを話し合い、奥村氏に助言をもらう
三回目のセミナーは見逃し配信可にする
定員30名
18：00開始　～　20：00
8月31日に案内についてふれてもらい、その後白石区内の事業所に向け案内メールを送付
申し込み締め切り　9月20日
配信は9月22日まで伸ばしてもらう想定

3. その他

（1）告知・PR
（2）次月予定　9月13日（水）10：30～12：00　場所 ＿＿＿＿＿＿＿
次回司会　ピアデザイン　稲垣